

## I. 授業の基本情報

人文地理学は自然地理学とともに系統地理学を構成している。本講義では、人間の諸活動と環境との関係を中心に、事例地域の分析を通じて現代人文地理学における様々な課題にアプローチする。なお、この科目は課程認定科目である。

授業の到達目標は次の通りである。即ち、①人文地理学の基本概念を理解する。②様々な人文事象について主題図を用いて理解したり表現したりすることができる。③人文事象の考察を通じて地域の特質や空間的構造を理解することができる。

関連するディプロマ・ポリシー(DP)は教育をめぐる様々な現代的課題について論じ、適切な対応を考えることができる。(思考・判断) 自己の学習課題を明確にし、理論と実践を結びつけた主体的な学習ができる。(関心・意欲)、である。なお、授業の内容と計画はシラバスを参照されたい。

## II. 授業評価・授業研究の方法

2016年2月10日の授業時間においてMoodleによるアンケート調査を実施した。履修者34人の内に29人から回答を得た。なお、以下の集計結果には回答が0%の選択肢を省略した。

1. この科目を履修した理由
  - ①シラバスの内容で判断した 24%
  - ②科目名で判断した 48%
  - ③時間割の都合で判断した 17%
  - ⑤その他 10%
2. 教員の言葉・声の調子等は適切であったか
  - ①そう思う 66%
  - ②どちらかといえばそう思う 31%
  - ③どちらとも言えない 3%
3. パワーポイントの表現は適切であったか
  - ①そう思う 59%
  - ②どちらかといえばそう思う 38%
  - ③どちらとも言えない 3%
4. 教員は、学生が質問や意見を述べられるように配慮したか
  - ①そう思う 55%
  - ②どちらかといえばそう思う 31%
  - ③どちらとも言えない 14%

## 5. 授業の進め方は適切であったか

- ①そう思う 52%
- ②どちらかといえばそう思う 31%
- ③どちらとも言えない 17%

## 6. 配布資料、地図帳、教科書などの教材は適切であったか

- ①そう思う 66%
- ②どちらかといえばそう思う 31%
- ③どちらとも言えない 3%

## 7. Moodleの使用は効果的であったか

- ①そう思う 17%
- ②どちらかといえばそう思う 41%
- ③どちらとも言えない 31%
- ④あまりそう思わない 10%

## 8. 教員は、授業中の私語に対して適切な処置を取ったか

- ①そう思う 41%
- ②どちらかといえばそう思う 31%
- ③どちらとも言えない 21%
- ⑤そうは思わない 7%

## 9. 教員は、学生の理解度を確認しながら授業を進めたか

- ①そう思う 38%
- ②どちらかといえばそう思う 45%
- ③どちらとも言えない 14%
- ④あまりそう思わない 3%

## 10. フィールドワークは授業内容の理解を深めるのに有効でしたか

- ①そう思う 76%
- ②どちらかといえばそう思う 14%
- ③どちらとも言えない 10%

## 11. 授業の内容は興味や関心が持てるものであったか

- ①そう思う 52%
- ②どちらかといえばそう思う 34%
- ③どちらとも言えない 14%

## III. 授業時間外学習の促進について

授業時間外の予習や復習を積極的に行ったかを聞いたところ、①そう思うが14%、②どちらかといえばそう思うが21%、③どちらとも言えないが28%、④あまりそう思わないが34%であった。課外学習を更に促す工夫が必要である。また休日でのフィールドワークの実施について肯定的意見は多かった。